

報道関係 各位

2017年5月28日  
株式会社日本レースプロモーション

5月27日(土)～28日(日)  
「2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 Race2」  
決勝結果速報

第2戦 Race2 は大逆転で関口 雄飛が優勝！

2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第2戦岡山大会 Race2の決勝レースが、岡山県岡山国際サーキット(1周3.703km)で行われました。

Race2はコースを51周、188.853kmで行われ、イトウチュウエネクス チーム インパルの関口 雄飛が逆転で優勝しました。

レース中のタイヤ4本交換が義務付けられたRace2では、上位陣ではスタートで4位にポジションを落とした関口 雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)が1周目に、スタートで3番手に上がったアンドレ・ロッター(バンテリン チーム トムス)が6周目にピットイン。レース序盤は、トップを走る石浦 宏明(ピーエムユーセルモインギング)と関口、ロッターのコンマ数秒を削る緊迫したレース展開となりました。石浦は34周目にピットインし、無難にタイヤ交換作業を終えましたが、ピットアウト時には関口が石浦をかかわしてトップに立ち、石浦は2番手となりました。しかし39周目に伊沢 拓也(ドコモチームダンディライアンレーシング)が2コーナーでコースアウトしセーフティカーが入ります。残り9周のところまでレースはリスタート。関口と石浦はゴール直前までテールトゥーノーズの接近戦を展開しますが、結局関口が石浦を抑えきり、見事な大逆転優勝を飾りました。

関口 雄飛の優勝は、昨年第6戦以来、通算3回目。

第3戦は7月8日(土)予選、9日(日)に決勝レースが富士スピードウェイにて開催されます。

\*記録の詳細は、別途添付公式通知「公式予選総合正式結果表」をご参照ください。



第2戦 Race2 を大逆転で制した、No19 関口 雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI** Inspire the Next  
©日本オートモティブシステムズ  
**SONY** ActionCam  
 総 人気製造

Broadcasting Partner

**BSフジ** **J SPORTS**

## 公式予選

岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を、決められた時間内でタイムアタックを行い、スタート順を決定いたします。  
今大会では、Race1、Race2それぞれで異なる予選方式が採用されています。

27日(土)は計時予選で行われ、20分間の中で全車が走行し、各ドライバーのベストタイム順にスタート順を決定します。

28日(日)はノックアウト方式で行われ、全車が走行する20分間のQ1で11位～19位のスタート位置を決定し、上位10台がQ2に進みます。10分間のインターバル後、10分間のQ2を行い、1位～10位のスタート位置を決定します。

尚、ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

## 決勝レース

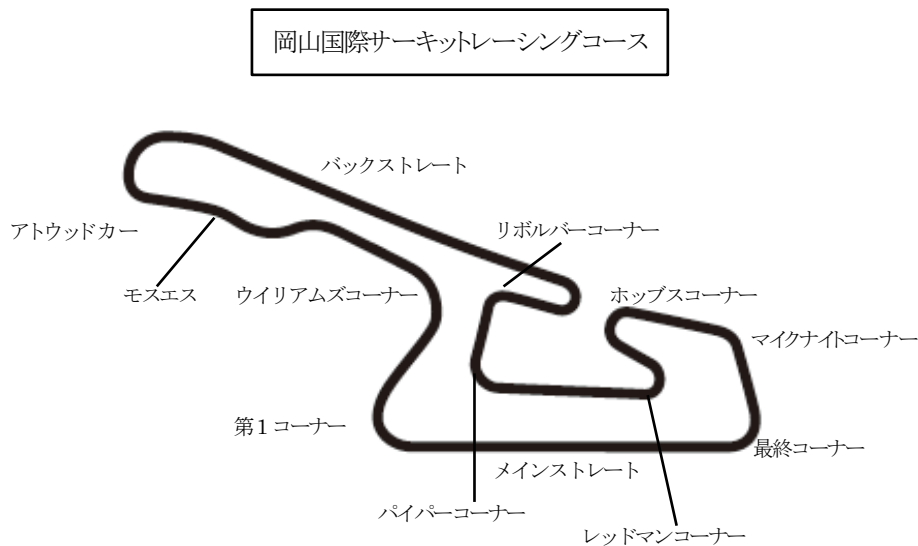
岡山国際サーキットレーシングコース(1周:3.703km)を27日(土)のRace1では、30周(111.09km)を走行し、28日(日)のRace2では、51周(188.85km)を走行し、順位を競います。

尚、Race2は、レース中において1セット(4本)のタイヤ交換が義務付けられています。但し、ウエットタイヤを装着してスタートした際には、交換義務は発生しません。

また、オーバーテイクシステムの使用は、Race1 および Race2 を通じて5回迄とします。

## 岡山国際サーキットについて

2本の長いストレートと大小13のコーナーからなるテクニカルコースで、各コーナーには往年の名ドライバーの名前がついている。迫力ある見どころとしては、スタート直後の1コーナー、ヘアピンからリボルバーコーナーの下り、Wヘアピン(レッドマン・ホップスコーナー)。コースと観客の距離が近く、コース全長3.7km、レースの迫力をより身近に感じることができます。



Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI** Inspire the Next  
©日立オートモティブシステムズ

**SONY** Action Cam

**人気酒造**

Broadcasting Partner

**BSフジ** **J SPORTS**

2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第2戦 エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマ)

2017年3月4日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモイニング)	立川 祐路	TOYOTA RI4A
2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都			
3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA RI4A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	1991/11/ 7	スウェーデン	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA RI4A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	1996/ 2/ 7	フランス	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA RI4A
20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	1991/ 9/ 9	イギリス			
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA RI4A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			
50	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/ 8/ 1	日本/群馬県	B-Max Racing team (ビーマックスレーシングチーム)	組田 龍司	HONDA HR-417E
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/ 1/29	日本/愛知県	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台  
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI** Inspire the Next  
©日立オートモティブシステムズ  
**SONY** ActionCam  
ソニー エレクトロニクス株式会社  
**総 人気酒造**

Broadcasting Partner

**BSフジ** **J SPORTS**

## 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	2017/4/22-23	2017/5/27-28		2017/7/8-9	2017/8/19-20	2017/9/9-10	2017/9/23-24	2017/10/21-22	
				SUZUKA Rd.1	OKAYAMA Rd.2-1	OKAYAMA Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1 Rd.7-2	
1	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	12	4	<b>5</b>	3	-	-	-	-	-	-
2	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	11	<b>11</b>	-	-	-	-	-	-	-	-
3	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	10.5	8	2	0.5	-	-	-	-	-	-
4	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	10.5	5	0.5	<b>5</b>	-	-	-	-	-	-
5	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	10	-	<b>5</b>	<b>5</b>	-	-	-	-	-	-
6	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	6	<b>6</b>	-	-	-	-	-	-	-	-
7	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	4.5	-	2.5	2	-	-	-	-	-	-
8	3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
9	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
10	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-
11	4	山下 健太 Kenta Yamashita	2.5	-	1	1.5	-	-	-	-	-	-
12	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
13	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	1.5	-	1.5	-	-	-	-	-	-	-
14	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
15	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1	<b>1</b>	-	-	-	-	-	-	-	-
	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*表中ポイント数字の **太字**: 優勝 下線: 予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位	No.	チーム	ポイント	2017/4/22-23	2017/5/27-28		2017/7/8-9	2017/8/19-20	2017/9/9-10	2017/9/23-24	2017/10/21-22	
				SUZUKA Rd.1	OKAYAMA Rd.2-1	OKAYAMA Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1 Rd.7-2	
1	36   37	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	22	<b>14</b>	5	3	-	-	-	-	-	-
2	1   2	P.MU/GERLIMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	15.5	11	0.5	4	-	-	-	-	-	-
3	15   16	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	11.5	8	2	1.5	-	-	-	-	-	-
4	19   20	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	10.5	-	<b>5.5</b>	<b>5</b>	-	-	-	-	-	-
5	3   4	KONDO RACING (コンドレーシング)	5.5	-	4	1.5	-	-	-	-	-	-
6	18	KMG (ケーシーエムジー)	4.5	-	2.5	2	-	-	-	-	-	-
7	10	REAL RACING (リアルレーシング)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
8	7   8	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-
9	64   65	TCS NAKAJIMA RACING (ティシーエス・ナカジマレーシング)	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
10	40   41	DDCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	50	B-Max Racing team (ビーマックスレーシング チーム)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*表中ポイント数字の **太字**: 優勝

\*チームポイント: 各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner



Series Supporter



Promotion Partner



Broadcasting Partner



## －開催概要－

- 大会名称 : 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2017年5月27日(土) 公式予選/決勝レース [30周]  
2017年5月28日(日) 公式予選/決勝レース [51周]
- 主催 : 株式会社 岡山国際サーキット  
アイダクラブ(AC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)  
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援 : 岡山県 / 美作市 / 岡山県観光連盟 / 美作国観光連盟 / 岡山県経済団体連絡協議会 /  
岡山県商工会議所連合会 / 岡山県経営者協会 / 一般社団法人岡山経済同友会 /  
岡山県中小企業団体中央会 / 岡山県商工会連合会 / 山陽新聞社
- 同日開催 : 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦  
2017年 全日本フォーミュラ3選手権 第8戦 第9戦  
2017 N-ONE OWNER'S CUP Rd.7  
ロードスター・パーティレースⅢ 西日本シリーズ第2戦

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)  
102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル  
e-mail:media@superformula.net  
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135



2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦

AC

# SUPER FORMULA

OKAYAMA International Circuit

2017.5.27, 28

SUPER FORMULA

No 13

2017 Japanese SUPER FORMULA Championship Series Round 2

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦

## Race 2 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

スタート時間：14:28:29

チェッカー時間：15:37:31

2017.05.28 発表 16:44

天候：晴れ

コース状況：ドライ

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	19	関口 雄飛/Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	51	1h09'02.975	164.102		1'16.142	36
2	2	石浦 宏明/Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	51	1h09'03.383	164.086	0.408	1'15.772	36
3	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1h09'05.561	164.000	2.586	1'16.076	50
4	7	Felix Rosenqvist	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	51	1h09'06.227	163.973	3.252	1'16.104	50
5	18	小林 可夢偉/Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	51	1h09'08.897	163.868	5.922	1'15.631	51
6	4	山下 健太/Kenta Yamashita	TOYOTA R14A	FUJI×raffinee KONDO SF14	51	1h09'11.009	163.784	8.034	1'16.380	51
7	15	Pierre Gasly	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	51	1h09'13.208	163.698	10.233	1'16.191	51
8	16	山本 尚貴/Naoki Yamamoto	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	51	1h09'17.262	163.538	14.287	1'16.968	27
9	1	国本 雄資/Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	51	1h09'20.062	163.428	17.087	1'16.801	31
10	40	野尻 智紀/Tomoki Nojiri	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M40S SF14	51	1h09'20.707	163.403	17.732	1'17.108	31
11	3	Nick Cassidy	TOYOTA R14A	FUJI×raffinee KONDO SF14	51	1h09'21.592	163.368	18.617	1'16.694	27
12	8	大嶋 和也/Kazuya Oshima	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	51	1h09'22.055	163.350	19.080	1'17.003	30
13	65	Narain Karthikeyan	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	51	1h09'22.545	163.331	19.570	1'16.527	34
14	64	中嶋 大祐/Daisuke Nakajima	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	51	1h09'23.375	163.298	20.400	1'17.337	49
15	50	小暮 卓史/Takashi Kogure	Honda HR-417E	B-Max Racing team SF14	51	1h09'24.064	163.271	21.089	1'17.417	50
16	10	塚越 広大/Koudai Tsukakoshi	Honda HR-417E	REAL SF14	51	1h09'24.533	163.253	21.558	1'17.390	50
17	20	Jann Mardenborough	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	51	1h09'25.167	163.228	22.192	1'17.359	50
18	37	中嶋 一貴/Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1h09'26.099	163.191	23.124	1'17.214	35
——— 以上完走 ———										
● 41	伊沢 拓也/Takuya Izawa	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M41Y SF14		37	48'24.087	169.843	14 Laps	1'16.954	16

本決勝レースは、39周目にセーフティカーを導入。42周目にコースを離脱した。

●セッケンNo. 41は、2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 統一規則 第21条 12. (セッケン作業違反)により、訓戒及び罰金5万円を科した。(ウォームアップ 走行時、14:00)

参加台数：19台 出走台数：19台

ベストラップ：18 小林 可夢偉/Kamui Kobayashi 1'15.631 51/51 176.261km/h

審査委員長

大会競技長

計時委員長



OKAYAMA International Circuit

岡山国際サーキット